

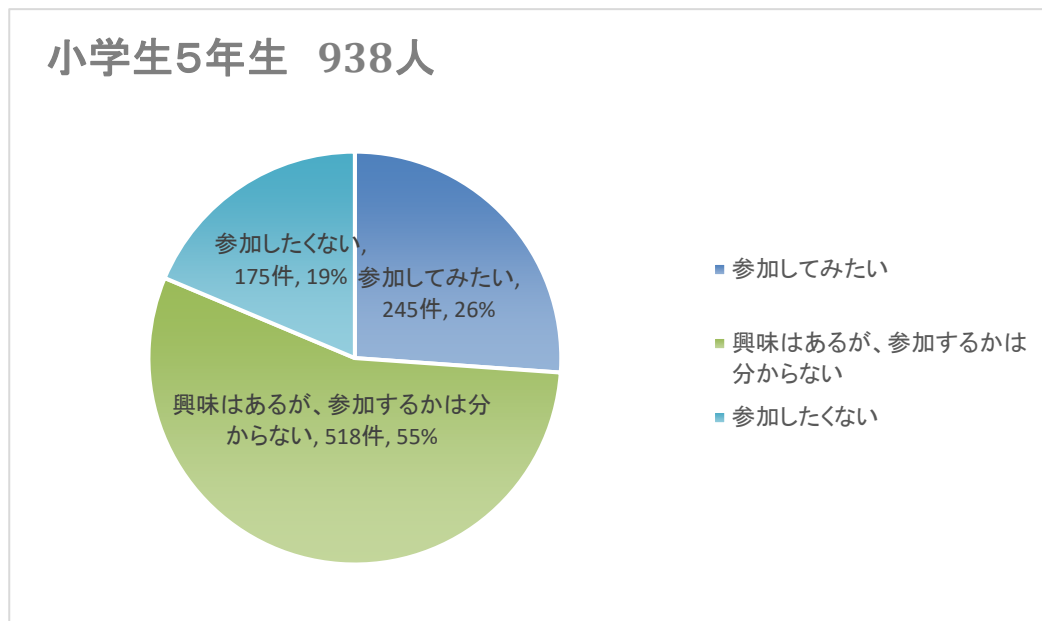
「しゅうなんコミュニティクラブ」に関する市内小学5年生 アンケート結果

実施期間 令和7年3月14日(金)～3月26日(水)

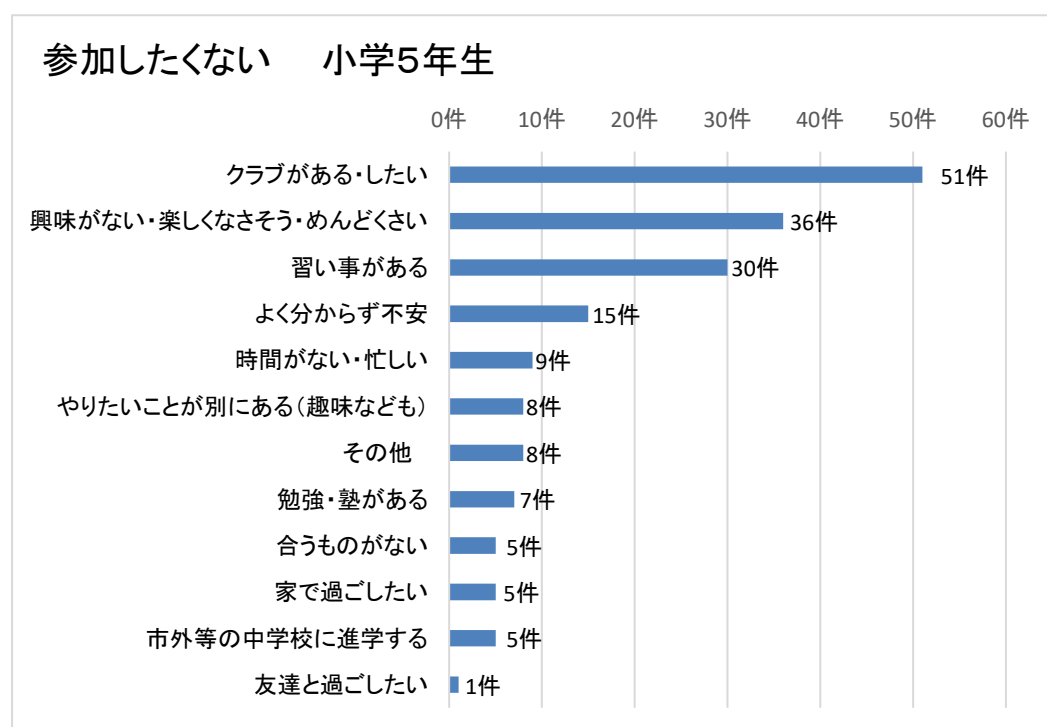
対象者 小学5年生(1,011人) ※令和6年5月1日現在生徒数

(回答数:938人)

●令和8年度から始まる「しゅうなんコミュニティクラブ」に参加してみたいと思いますか



●参加したくない理由(複数回答あり)



◆参加したくない児童の中には

- ・参加したくない理由の約 60%が、習い事やクラブ、塾など既に放課後にいろいろな活動をしていることや、これからやりたいことなどがはっきりしているためとの回答であった。
- ・「人と何かをするより家で何かをしたい」、「家族との時間を増やしたい」などの意見もあり、家庭での時間を大切に考えていたり、集団ではなく個人での取り組みを行いたいと考えたりしている子もいる。

⇒不参加理由が消極的でない回答が半数以上である。

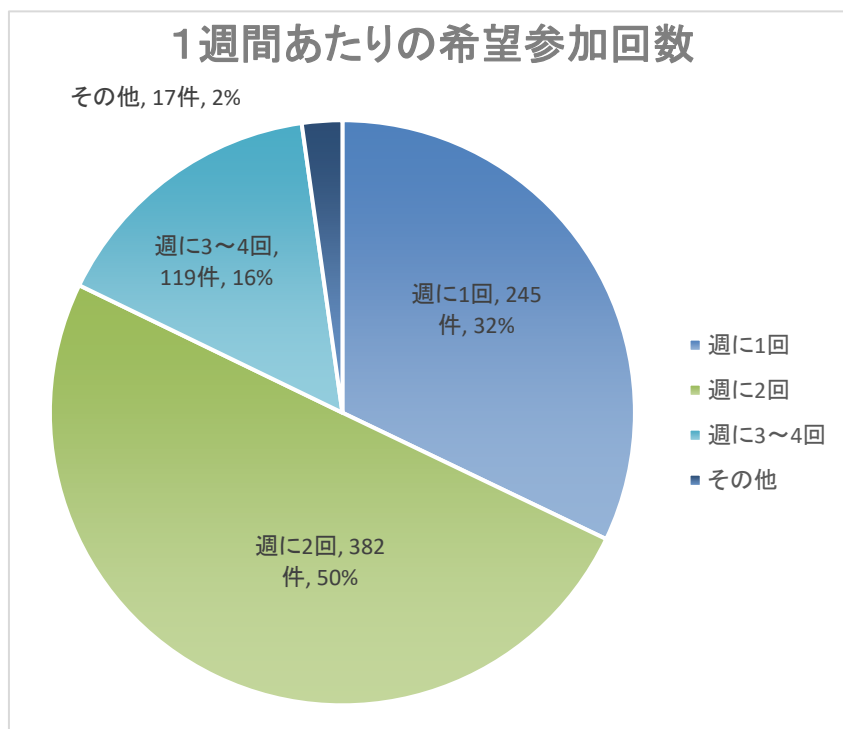
⇒選択肢が増えることにより、より子どものしたいことに沿った活動を選択することが出来る。

- ・「興味がない」「楽しくなさそう」などの意見も20%程度あったが、中には「話し合うことが苦手」なため、興味をもちにくい子もいた。
- ・「合うものがない気がする」「ちゃんとできるか分からない」「よく分からないから」など、コミクラの活動について十分に理解をしていないことで、参加に対して消極的になってしまう意見も10%程度あった。

⇒コミクラのことをより知る機会が増えることで、不安感が取り除かれたり、興味がわいたりして参加してみたいという気持ちが生まれる児童もいるかもしれない。

●活動の回数について

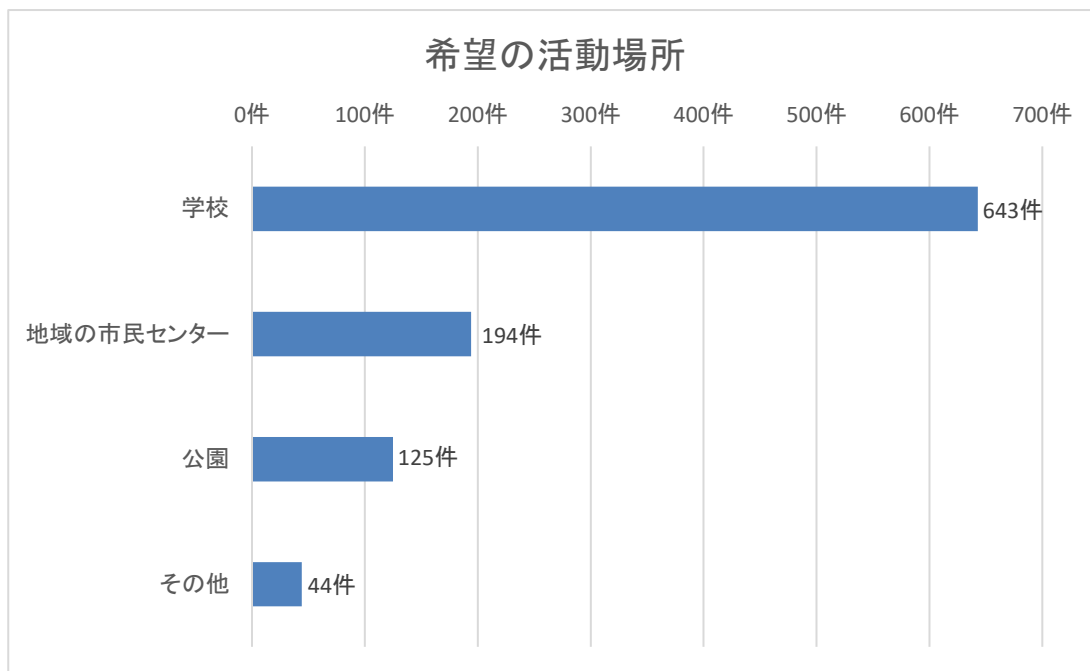
Ⅰ 週間で何回くらい活動に参加したいか



- ・「参加してみたい」「興味はあるが、参加するかは分からない」と回答した児童のうち、半数の児童が「週に2回」程度参加したいと考えている。
 - ・「参加してみたい」「興味はあるが、参加するかは分からない」と回答した児童のうち、半数の児童が「週に2回」程度参加したいと考えている。
 - ・「週に1回」または「週に2回」の参加を希望する児童が80%以上である。
- ⇒「習い事をしたい」「しっかりやりたいけど、休みもあつたらいいなと思う」など、週1、2回程度であれば、習い事と並行したり、自分の時間も大切にしたりしながら活動できると考えているようである。
- ・「その他」には、「2週間に1回」、「月に1回」などゆったりしたペースでの取り組みを希望する意見や「毎日取り組みたい」という意見もあり、ニーズは児童により様々である。

●活動場所について

どこが良いか(複数回答あり)



・「参加してみたい」「興味はあるが、参加するかは分からない」と回答した児童(763人)のうち、80%以上の児童が「学校」での活動を希望している。

⇒児童にとって、「学校」は勝手が分かり、安心して活動に取り組める場所である。

・その他には、「練習場」や「競技場」、「グラウンド」、「海や山」、「オンライン」などの意見もあった。

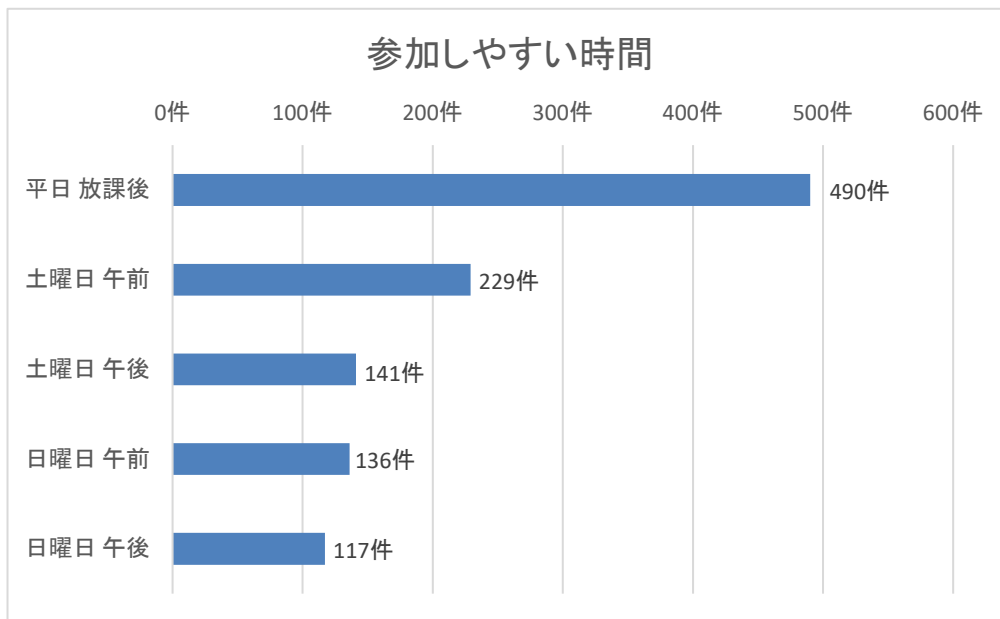
⇒海のごみ拾いなどを行いたいと考える子もあり、活動内容により場所の検討が必要である。

⇒「作ったものを置いておけるところ」という意見もあった。継続して制作などに取り組む上ではその点も考慮する必要があると感じる。

⇒活動場所が家から遠く、毎回その場所へ向かうことが難しい子にとっても、活動内容によっては、「オンライン」で参加することで、参加しやすくなるのではと感じる。また、学校区外の友達とつながる機会にもなるように感じる。

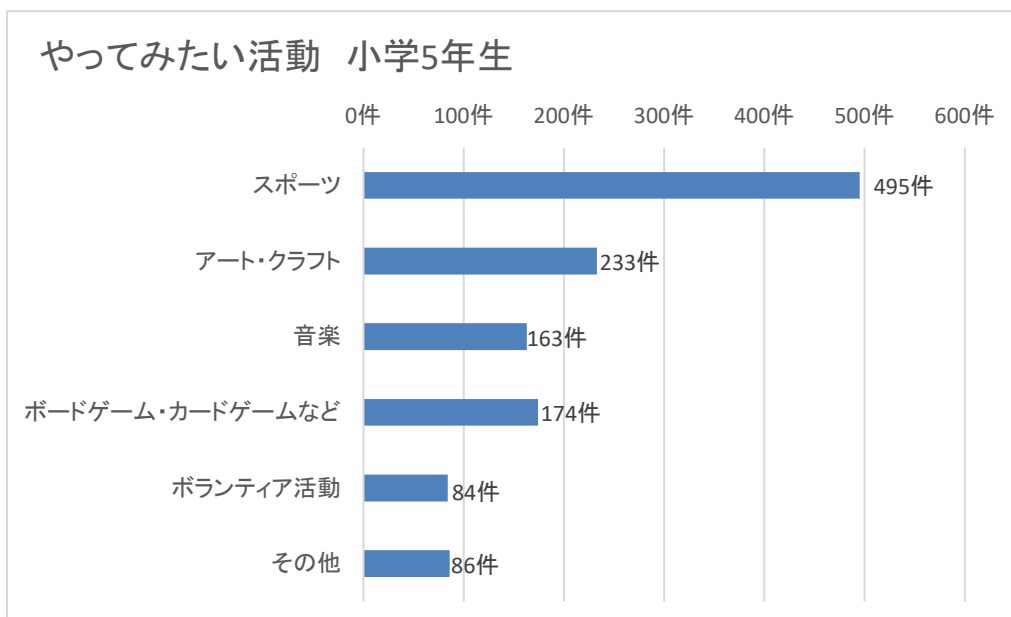
●時間帯について

どの時間帯が参加しやすいか（複数回答あり）

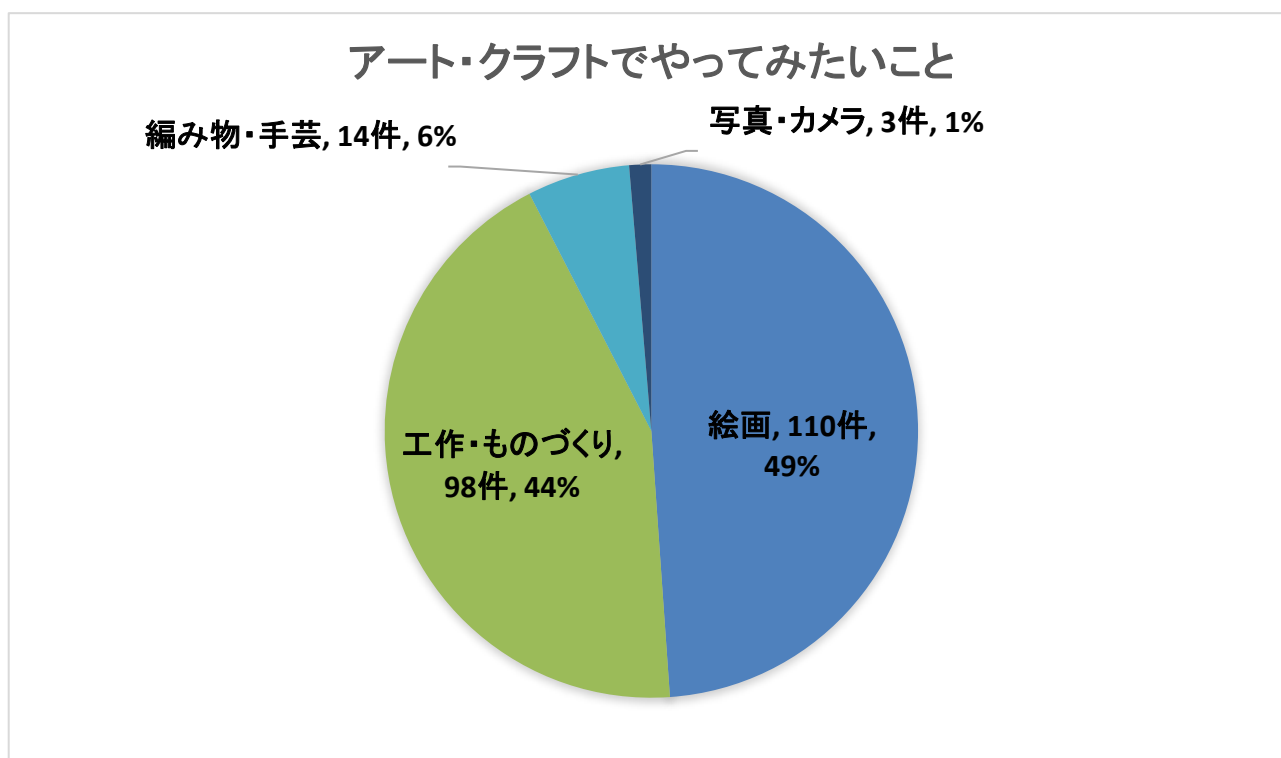
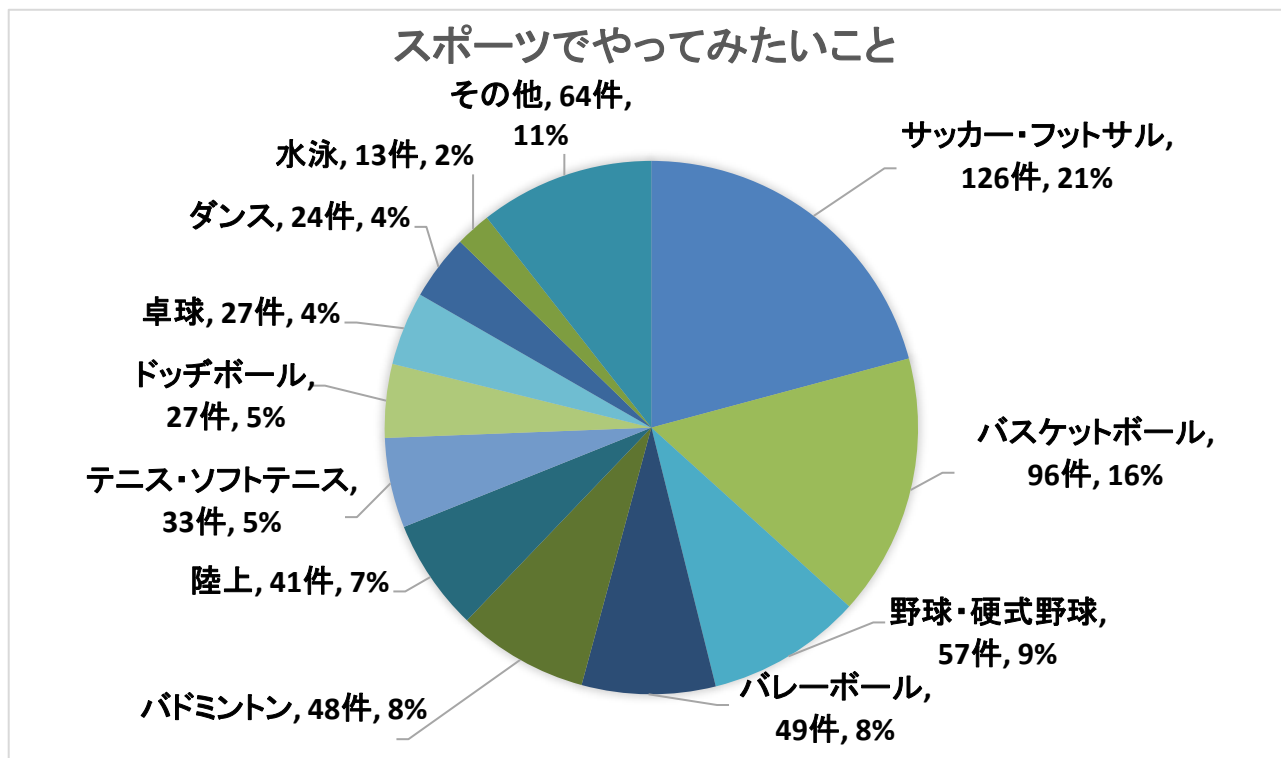


- ・「参加してみたい」「興味はあるが、参加するかは分からない」と回答した児童（763人）のうち、60%以上の児童が「平日放課後」の時間帯が参加しやすいと回答している。
 - ・休日の場合、「土曜日の午前中」が参加しやすいとの回答が全体の30%程度で一番多かった。
- ⇒休日に家から出かけて参加するよりも、放課後の方が参加しやすいと考えている児童が多い。

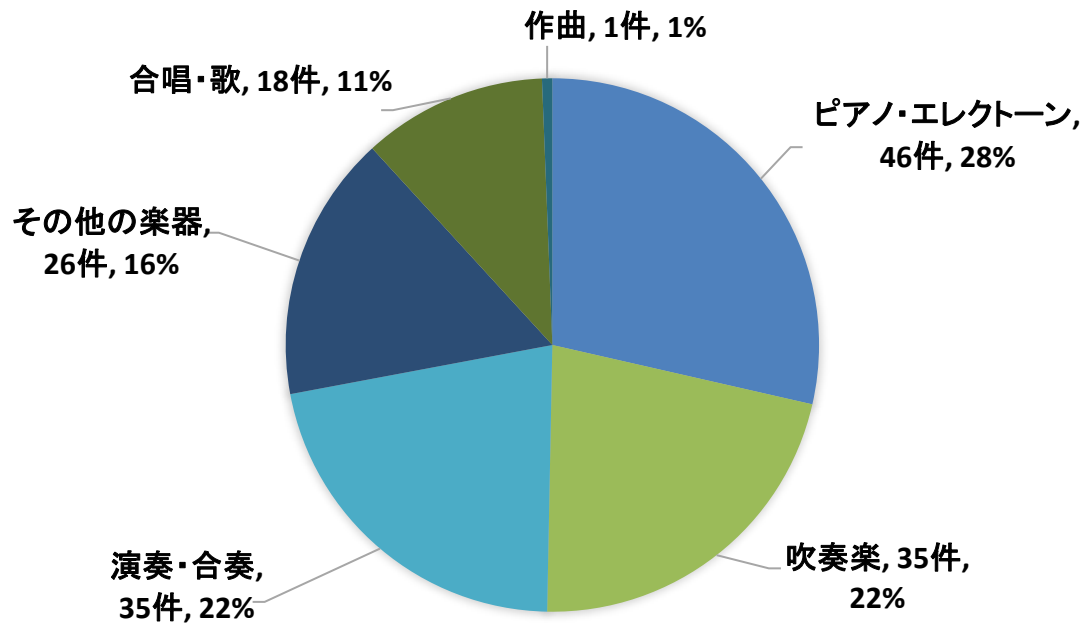
●やってみたい活動について（複数回答あり）



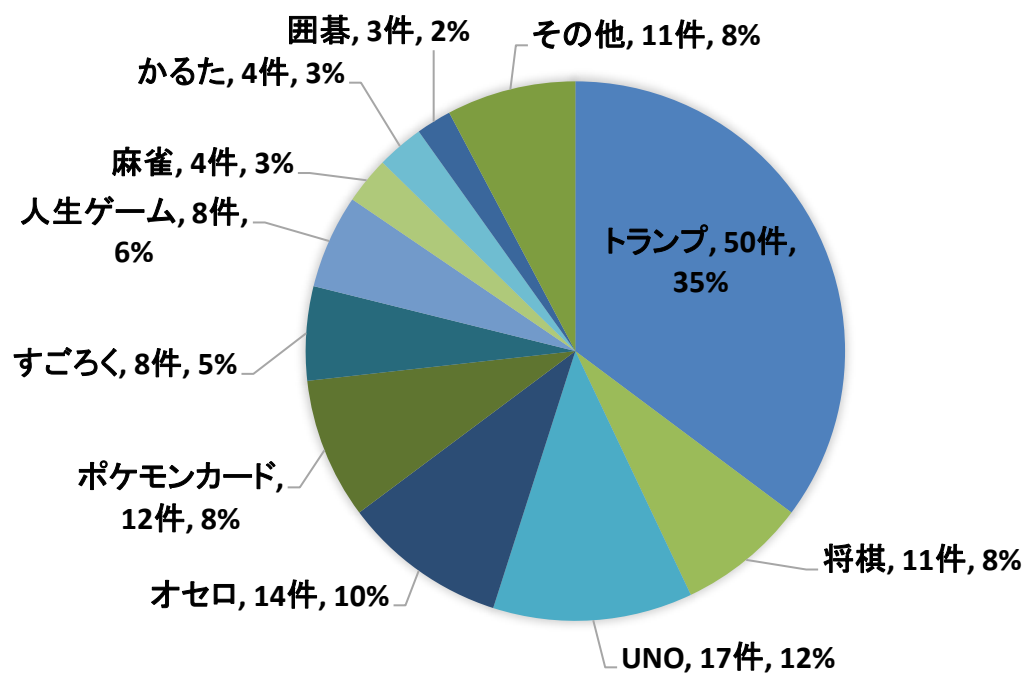
●分類別 具体的な回答



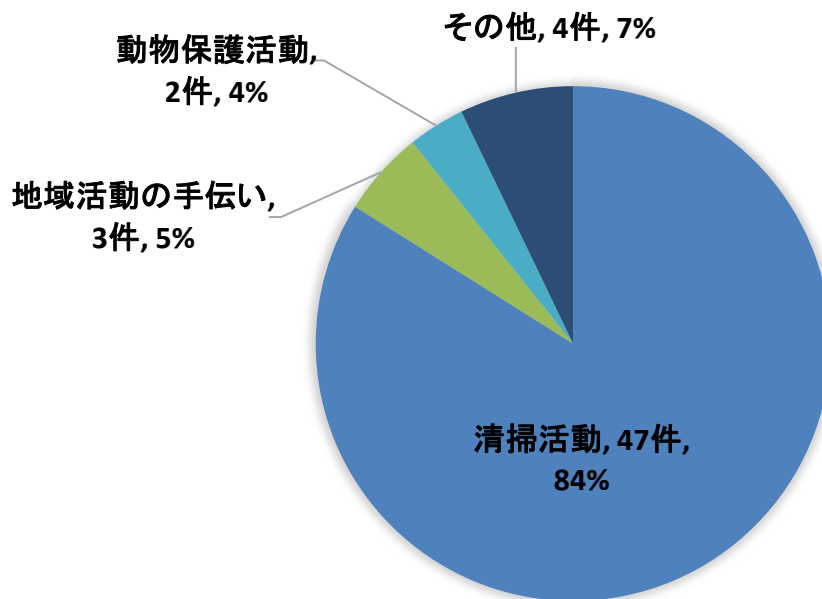
音楽でやってみたいこと



ボードゲーム・カードゲームでやってみたいこと



ボランティア活動でやってみたいこと



◆その他の活動としては

プログラミング、料理・お菓子作り、書道、茶道、華道、読書、実験・観察、物語の創作などの意見があった。

- ・「誰かの役に立ちたい」「みんなが助かることをしたい」など、自分たちが楽しむ活動だけでなく、社会の一員として力を発揮したいという意見もあった。